

# 家畜防疫対策の強化について

## ～ 家畜・家きん飼育者のみなさまへ ～

今シーズンは、国内において過去に例がない勢いで高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

豚熱についても昨年12月に山形県や三重県の養豚場で発生し、野生いのししへの感染も拡大しています（当所管内でも野生いのししでの感染が確認されています）。

また、近隣諸国でも口蹄疫、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病の発生が継続して確認されています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の渡航や外出は控えるよう呼びかけられているところではありますが、家畜伝染病の侵入・まん延防止のため、以下の対策について継続いただきますようお願いいたします！

### ◆ 引き続きご注意いただきたいこと ◆

- 家畜の伝染性疾病発生地域への渡航は可能な限り自粛。外国人従業員の方や留学生につきましても、御理解の上、御協力ください。  
※ やむを得ず渡航する場合は、現地で農場等畜産施設には立ち寄らず、肉類の持ち帰りはお控えください。また、帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らないでください。海外で使用した衣類や靴の衛生管理区域への持ち込みも厳禁です！
- 衛生管理区域や畜舎への関係者以外立入禁止。不要物品の持ち込み禁止。
- 防護柵や防鳥ネットの設置による野生動物侵入対策と破損箇所のチェック・修繕。
- 農場周辺や農場、畜舎に立ち入る際の徹底消毒！

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

### 近隣の発生国(2018年9月以降)



【口蹄疫】 中国、モンゴル、ロシア(O型) 韓国、ミャンマー(A型、O型)

【アフリカ豚熱】 中国、韓国、フィリピン、北朝鮮、香港、カンボジア、インドなど感染拡大

【高病原性鳥インフルエンザ】

中国(H5N8)、韓国(H5N8)、台湾(H5N5)、ベトナム(H5N6)、ロシア(H5N8)など

ヨーロッパ諸国でも鳥インフルエンザが猛威を振るっています！

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)

FAX :0774-52-2030